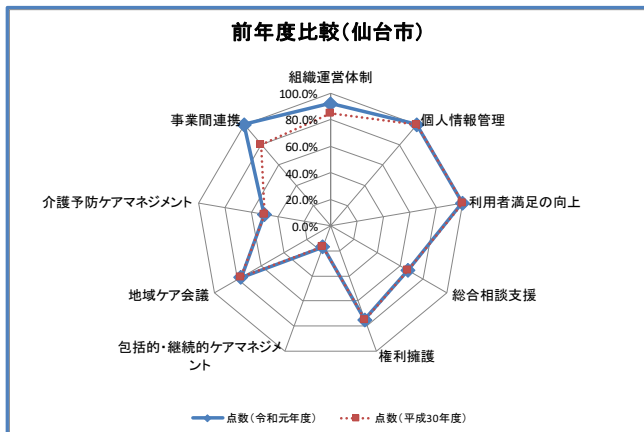
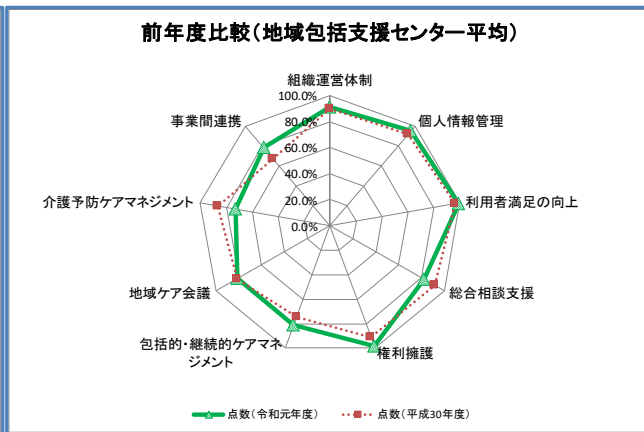


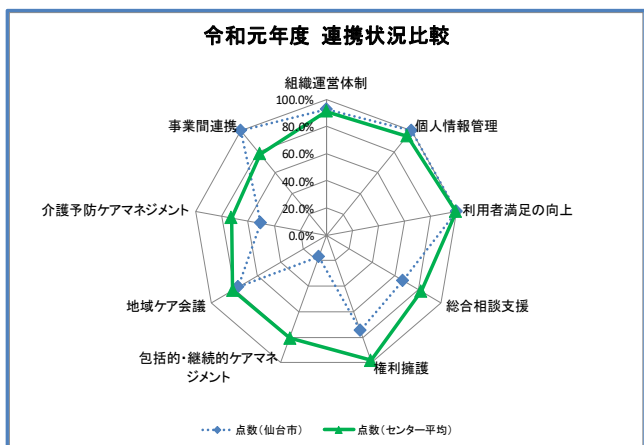
①前年度比較(仙台市)



②前年度比較(地域包括支援センター平均)



③連携状況比較



連携項目による業務分析

- ◆市区町村と地域包括支援センターの設問には、直接対応関係のある設問(連携項目)が49項目ある。
- ◆連携項目の仙台市とセンターの回答状況は以下の通り。

令和元年度 市区町、センターの連携項目の回答状況

		センター	
		○(達成)	×(未達成)
仙台市	○(達成)	32項目 28項目	6項目 8項目
	×(未達成)	7項目 10項目	4項目 3項目

※ 太枠内は昨年度の結果

※センターの回答については、○(達成)と回答したセンターの割合が80%以上の項目を○(達成)として計上している。

事業評価 I の結果

①前年度比較(仙台市)について

◆昨年度と比較し、「組織運営体制」「事業間連携」に改善がみられている。

「組織運営体制」:地域包括支援センター運営協議会(本市においては、地域包括支援センター運営委員会)での議論を踏まえ、センターの運営方針を改善したことにより、達成項目が増えた。具体的には、「地域ケア会議へ圏域内の開業医の参加に向けて、センターから積極的に声掛けを行ってほしい」との意見から、センターの業務水準表に医師の地域ケア会議の参加について盛り込み反映したことが挙げられる。

「事業間連携」:在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口の設置がされたことから、達成項目が増えた。

②前年度比較(地域包括支援センター平均)について

◆昨年度と比較し変化がみられる点は、センターにより異なっていた評価基準の解釈の統一を図ったことが、主要な要因であると考えられる。

◆達成状況が高くなった「事業間連携」においては、センターが圏域内の地域団体と、高齢者のニーズや社会資源について協議を行っている割合が増えてきていることが、主要な要因と考えられる。

③連携状況比較について

◆連携状況比較については、昨年度と同様、「包括的・継続的ケアマネジメント」「介護予防ケアマネジメント」の評価のずれが大きく、引続き仙台市の取り組みに改善の余地がある。

<すでに取り組んでいる取組み>

「総合相談支援」:家族介護者から受けた相談件数・相談内容を把握するため、センターが毎月市に提出する報告様式の改善を行った。

「包括的・継続的ケアマネジメント支援」:介護支援専門員から受けた相談内容を整理・分類し、経年的な把握をするため、センターが毎月市に提出する報告様式の改善を行った。

<今後改善に向け検討する取組み>

「総合相談支援」:センターが受けた相談事例の終結条件について、他都市の取組み状況を参考に整理し、センターと協議すること。

「包括的・継続的ケアマネジメント」:介護支援専門員を対象に包括的・継続的ケアマネジメントを行うための課題や支援などに関する意見収集を行うべく、仙台市の実施する介護支援専門員向けの研修の場などを活用してアンケートを実施すること。

「介護予防ケアマネジメント」:介護予防ケアマネジメント及び介護予防支援(要支援者・事業対象者のケアプラン管理業務)を居宅介護支援事業所へ委託する際の事業所の選定方法について、公平性・中立性確保のための指針を作成し、センターに明示すること。

※留意点※

・事業評価 I で用いられる評価指標は、全国的に汎用性のある項目として選定されているため、本市で独自に地域包括支援センターに委託して実施している業務の評価は含まれていない。

・現時点で全国・県の集計結果(チャート)が提供されていないため、仙台市内の状況を基に作成している。